

JRIS

鉄道車両—空気ホ—ス連結器

JRIS E 4301 : 2005

(JARI)

平成 17 年 3 月 3 日 改正

日本鉄道車輛工業会規格調査会 審議

社団法人 日本鉄道車輛工業会 発行

まえがき

この規格は、**JIS E 4301-1991** が平成 13 年 6 月 27 日に廃止されたのに伴い、その技術的内容を継続して利用することができるように、“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に則り“鉄車工規格審査会”の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。

ただし、関連する“鉄道車両—空気ホース連結器”の規格名称表示を **JIS** から **JRIS** に変更した。

なお、**JIS E 4301-1991** の解説内容のうち、材料について追記したほかは、そのまま再掲した。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。会長及び鉄車工規格審査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JRIS “E シリーズ” 制定の背景

日本工業規格（**JIS**）は、従来、製品仕様を規定する規格及び性能を規定する規格とが含まれていた。近年、国際規格との整合化を考慮して、徐々に性能を規定する規格は残し、使用分野が限定されている製品仕様の規定は当該産業分野の団体規格へ移管するとの方針が出され、廃止される **JIS** が多くある。

廃止された **JIS** のうち、鉄道車両の分野で、今後も継続的に使用する可能性のある規格は、鉄車工規格として受け入れ制定・登録することとした。

この規格は、“E シリーズ”として区分し、その規格番号は、継続性を保てるように、前身の **JIS** 番号を踏襲している。

JRIS は、関係する技術分野に応じて四つに区分した体系で構成している。

この規格の“E シリーズ”のほかに、“D”、“R”、“J”シリーズがある。

鉄道車両—空気ホース連結器

Rolling stock - Air hose couplings

1. 適用範囲 この規格は、JRIS E 4305による空気ブレーキホースに結合して用いる空気ホース連結器(以下、連結器という。)について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS B 0403 鋳造品—寸法公差方式及び削り代方式

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

JIS G 5705 可鍛鋳鉄品

JRIS E 4305 鉄道車両—空気ブレーキホース

2. 種類及び記号 連結器の種類及び記号は、接続空気ホース内径及び用途によって表1による。

表1 種類及び記号

種類	記号	摘要		
		接続空気ホース内径(mm)	用途	付図
1種	FP 4	29	自動ブレーキ装置ブレーキ管及び元空気だめ管用	1
2種	FP 5	36	自動ブレーキ装置ブレーキ管用	2
3種	LP 3	19	自動ブレーキ装置元空気だめ管及び制御管用	3
4種	EP 3	19	非常弁付直通ブレーキ装置非常管、直通管及び元空気だめ管用	4
5種	LP 3A	22	自動ブレーキ装置自動制御管用	5
6種	EP 3A	22	自動ブレーキ装置釣合い管用	6

3. 性能 連結器の性能は、7.1の試験を行ったとき、気泡の発生があってはならない。

規格概要のため以下は省略する。